



【1回戦・江陵一日光明峰】第2ピリオド、ゴールに向けて力強いシュートを放つ江陵の竹田将哉（右から2人目）

力を出し切った。江陵は強豪の日光明峰に敗れはしたものの善戦した。スキー実習の2年生を除く約200人の応援を受けた山下涼主将(3年)は「声援は力になった。勝てなくて悔しいが選手同士で声をしっかりと出だし、最後まで戦い抜けた」と胸を張った。

日光明峰には数週間前の練習試合で2-9と完敗。敗戦が選手の勝利への意識をさらに高めた。

三杉友宏監督は「強豪に勝つためにはロースコアの試合展開に持ち込むしかない。得点を取りたい気持ちを抑えて戦術を理解しようと努力してくれた」と話した。

最後まで闘志消えず 江陵

第1Pに2点を追う15分、

前身の池田西の1977年

ゴール裏からの竹田将哉(同)のパスをダイレクトで村山翔太(同)がたたき込むゴールで1点差に。副主将の竹田は「練習通り。(三杉)監督から教えてもらった動きができた」と振り返った。第2Pに1人少ないキルプレーで8分間で3失点しても闘志は消えない。15分に村山がフェンス際を持ち上がりゴール前へパス。駒形龍冴(りゅうご)3年)の得点につなげて食い下がった。来年度に幕別高と統合するため、1年生の募集をせす3年生10人、2年生2人の12人。2セット回しもままならず体力を消耗しながらも最後まで走り切った。

に愛好会として発足し、79年に部に昇格。98年度と99年度にベスト8入りした強豪も近年は苦戦が続いた。2012年に三杉監督が就任した際には部員は10人だけだった。受けた恩に報い、恵みに感謝する「報恩謝徳」を信条とする三杉監督の人柄に引かれて選手は再び増え、2年前のインターハイでは久々の1勝を挙げるなど躍進した。現在の2年生2人は新チームでは連合チームに入る。

北澤脩は「部はなくなるが、一つひとつの練習から必死に向かう江陵での2年間を胸に戦いたい」と力を込めた。